

2011年12月28日
株式会社パスコ

(報道資料)

**超高解像度光学衛星「Pleiades(プレアデス)」の打上げ成功
- 2011年12月17日11時3分(JST) ギアナ宇宙センターより -**

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:杉本陽一、以下:パスコ)が販売権を取得している、超高解像度光学衛星「Pleiades」の打上げが成功しました。

【打上げ日時】

2011年12月17日 11時03分(JST)

【打上げ発射場】

ギアナ宇宙センター(フランス領ギアナ)



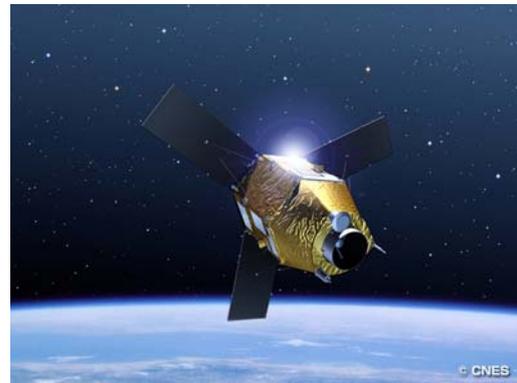
© 2011 ESA - CNES - ARIANESPACE / photo credit Service Optique CSG

ギアナ宇宙センターから「Pleiades」衛星を搭載したソユーズロケットが打上げられました。ソユーズは順調に飛行を続け、打上げの55分後の2011年12月17日11時58分(JST)にロケットから切り離され、所定の軌道に投入されました。

2011年12月20日20時頃(JST)にToulouse(フランス)のアンテナで「Pleiades」とのコンタクトに成功しました。今後は各種運用試験が開始されます。

■ 超高解像度光学衛星「Pleiades」について

「Pleiades」は、Astrium GEO Information Services 傘下の Spot Image 社が運用する光学系人工衛星で地上解像度 50cm カラーの超高解像度光学衛星群。1回の撮像範囲は 20km×20km と他の衛星の 2～3 倍の広さが撮像でき、1 年後に打上げを予定している 2 号機との合わせると、撮像タイミング、撮像回数とも通常の衛星の 2 倍、撮像面積は 4～6 倍のパフォーマンスを有している。商用サービスは 2012 年 4 月から開始する予定。



■ 背景

パスコは現在、沖縄県糸満市、北海道千歳市に衛星受信局(アンテナ)をもち、人工衛星を用いた測量や、人工衛星画像のデータ解析・判読処理を施した防災、農業、森林、環境などのリモートセンシングサービスを展開しています。

東日本大震災においても、合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X(テラサーエックス)」のほか、光学衛星の撮影画像を活用して津波の浸水区域判読(推定)や湛水区域のモニタリングなどを独自に実施し、いち早く、国および関係機関に対して解析結果等の情報提供を行いました。

今回、新たに Astrium GEO Information Services(フランス)が運用する地上解像度 50cm カラーの超高解像度光学衛星「Pleiades」の、日本国内におけるダイレクトタスキング(衛星に対して直接、撮影指示を出し、撮影したデータを直接受信すること)とデータ販売の権利を取得しました。

パスコが既に権利を取得している合成開口レーダー衛星「TerraSAR-X」と合わせ、地上解像度 50cm カラーの超高解像度光学衛星とのダイレクトタスキングという利点をいかし、今後も、防災や環境分野を中心として、人工衛星データの迅速な取得と提供に努めるとともに、事業基盤の強化を図り、人工衛星を活用した地理空間情報事業の拡大を目指します。

【Astrium GEO Information Services】

Astrium GEO Information Services は、エアバス事業を中核とした航空宇宙事業を展開するヨーロッパの大手航空宇宙企業 EADS グループにおいて、宇宙事業を主管する EADS Astrium 社の「衛星運用・リモートセンシングなどの利用サービス」を提供する部門。

■ 本件に関するお問合せ先

株式会社パスコ 基幹業務部 広報担当

TEL: 03-6412-2800 / 「お問合せフォーム」 <http://www.pasco.co.jp/contact/>